



第11回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2019年12月11日坂戸市文化施設オルモにて、第11回地域連携セミナーを開催いたしました。

今回は事例報告会といたしまして、北坂戸ファミリークリニック、北坂戸訪問看護ステーションが介入させていただいた、困難だった事例の報告をいたしました。

医師、看護師に加え、当時介入していただいた、ケアマネジャーのケアプランあゆみの江藤様にも参加いただき、当時の事例について、苦労した点や良かった点、改善点等をそれぞれの立場からお話いただきました。

最後にはグループワークを実施して参加者様の感想や過去の事例について発表していただきました。



今回報告した事例

- ・患者、家族の意思決定が右往左往し、なかなか方向性が定まらず介入事業者が苦労した。
- ・キーパーソンである同居家族に知的障害があり、有事の際の説明を根気よく繰り返す必要があった。

最終的には、介入事業者がしっかりと情報共有し、意思統一ができた結果、家族も納得された形で最後まで介入できました。

医師や看護師の医療サイドだけでなく、ケアマネジャー、ヘルパー等多職種が情報共有をしっかりとし、意思統一をする重要さを改めて実感しました。

北坂戸ファミリークリニックでは、基本的に2週間に1回の頻度で訪問診療をしておりますが、その中で把握できる情報というのは、限られており、訪問看護やケアマネジャー、ヘルパー等の多職種の情報というのが重要になってきます。

身体の状態もそうですが、お気持ちの部分だったり、家族関係や生活状況等も訪問診療をしていくうえで非常に重要な項目です。

今回報告した事例では、これらの情報共有がケアマネジャーを中心にできていたことがとても大きかったと感じています。

今後も様々な事例があるかと思いますが、多職種連携をしっかりと、患者様、ご家族が安心してご自宅にいられるように頑張っていきたいと思っております。

セミナー参加者のご感想・ご意見の紹介

- ・末期患者さんに対して、本人、家族、医療従事者、介護事業者の連携の大切さを痛感しました。
- ・難しいケースですが多職種が悩みながら向き合っていたのがよくわかった。
- ・具体的な症例による検討だったので、現場の問題点を知ることができた。退院→在宅でのサービスや環境を整えるためにも情報共有・カンファレンスの必要性を改めて感じました。
- ・退院前のカンファにて在宅へのイメージをもてるよう情報共有をしていこうと思いました。

他にもたくさんの感想を書いていただきました。多くの方が情報共有の大切さという点について記載いただいていた。また、退院時にある程度イメージがつくようなカンファレンスや情報共有ということが重要になるという意見もありました。

- ・ほかにも困難事例、印象に残っている事例・症例発表をしてほしい。
- ・病院との連携に困ったことを教えてほしい。
- ・医師がカンファレンスや情報共有に前向きに発言していただくのととてもやりやすいです。

今後も事例発表の機会を設けて、皆様と情報共有しながら、困難な事例にも対応していきたいと思えます。

セミナーの様子：医師・看護師・ケアマネがそれぞれの立場から、
↓
様々な意見を発表してくださいました。



最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812